

フェイスブックが5月18日、ついにNASDAQ市場に上場した。

ギリシャ危機が再燃し、世界的に株価が急落するなか、投資家の期待を集めたが、どうやら不発に終わったようだ。初値は公募価格の38ドルを約10%上回り、さらに45ドルと18%値上がりする場面も見られた。ただその後は急速に伸び悩み、終値は公募価格をたった23セント上回っただけ。それも、引受幹事のモルガン・スタンレーが株価安定に向け買い支えに入ったという。

出来高は5億6600万株を超え、時価総額は約1046億ドル。

このフェイスブックが上場を果たした日、洋泉社から『徹底解析!! Facebookというビジネス』というMOOKが発売された。4月初め、この企画に寄稿してほしいと頼まれ、「フェイスブックの危険な落とし穴」という原稿を書いた。内容は、ソーシャルネットワークがプライバシーを奪っていくことを基点に、フェイスブックの本質に迫ったもの。昨日、出来上がったばかりの本が届いたので、さっそく手に取ると、ほかの執筆者もいい内容の原稿を寄稿していて、いい仕上がりだ。

私見としては、すでにフェイスブックはピークを過ぎ、今後は落ちていくばかりと予測している。



Amazon.co.jp : [徹底解析!! Facebook というビジネス](#) (洋泉社 MOOK)